

工業部会長報告

1. 会議名 **第2回工業部会（製造業DX化支援セミナー）**
2. 日時 **2023年6月29日（木） 13：30～15：00**
3. 場所 **A N Aクラウンプラザホテル**
4. テーマ **製造業におけるDX推進取組事例**
5. 講師 **エイデイケイ富士システム(株)**
地域情報ビジネス部 地域情報ソリューション課
担当部長兼課長 尾張谷 朋幸 氏
6. 情報提供 **「秋田県DX推進計画」について**
秋田県企画振興部デジタル政策推進課
デジタルガバメント推進監 安藤 雅之 氏
7. 出席者 **32名（現地参加16名、オンライン参加16名）**

内容①（セミナー：製造業におけるDX推進取組事例）

紙媒体を電子媒体にしたDX化の2事例を紹介。

【事例①：東電化工業(株)（大仙市）】



●現状の課題

- ・品質管理のためISO準拠の文書（報告書）が膨大
- ・現行の文書管理では、押印の進捗状況がわかりにくい状況

●提案内容

- ・ファイル管理、ワークフロー機能、検索機能を有する「**新報告書管理システム**」の導入

●導入後の成果

- ・システムの導入により、**業務効率化（時間短縮）**を実現
- ・いつ誰が確認・承認をしたのかがわかる
- ・出張先や在宅での利用が可能

内容①（セミナー：製造業におけるDX推進取組事例）

【事例②：ユーティケー工業(株)（秋田市河辺）】

●現状の課題

- ・ 担当者が作業日報を手書きで記入したものを、約1カ月分を他担当者がExcelに手入力していたため、入力ミスがある
- ・ 担当者毎に手書き日報が煩雑
- ・ 生産状況がわかりにくい状況

●提案内容

- ・ 生産管理のための前段階として、現状を知るための仕組みの構築
- ・ 稼働状況を見える化、管理することでIT化状況を全社に浸透させる

●導入後の成果

- ・ **DX推進ツールを導入し、作業日報を現場でタブレットに入力することで、日報入力と同時に生産状況を見える化**
- ・ 手書き記入、入力の削減による**転記ミス削減**
- ・ **紙の削減**

県として向かうべき方向性について懇談。



1. 策定趣旨

本県の現状に加え、AI、IoT、ロボット技術の活用推進、デジタルツインやメタバースの進展といった社会の変化・デジタル化動向を踏まえ、地域課題の解決を図りつつ、社会経済の変化に対応しながら本県が力強く歩んでいくため、**デジタル技術の活用による社会の変革や新たな価値の創出を図るための指針としてDX推進計画を策定**

2. 計画の理念

「デジタルデバイド解消、人に優しいデジタル化」の推進により、本県が目指す将来の姿である「高質な田舎」と、いつでも、どこでも、**県民一人ひとりがそれぞれのニーズに合ったサービスを選ぶことができる社会の実現を目指す**

3. 重要な視点

利用者ファースト、データ活用による価値の創造、人材育成

内容②（情報提供：「秋田県DX推進計画」について）

4. 主な取組内容

施策の柱	取組の分類	主な取組
①行政 行政手続きにユーザー視点を取り入れ、 県民の利便性向上や行政事務の効率化 を図る。	<ul style="list-style-type: none">行政手続のオンライン化マイナンバーカードの普及・活用	<ul style="list-style-type: none">電子申請サービスの充実交付事務体制充実の取組への支援
②産業 DXの実現に向け、一層のデジタル化の促進による 産業の生産性向上や競争力強化 を図る。	<ul style="list-style-type: none">スマート農林水産業の推進	<ul style="list-style-type: none">スマート農業の普及拡大、漁業情報のデジタル化、水産物のオンライン販売体制強化
③暮らし 医療、交通、教育をはじめ、 県民生活の様々な分野のデジタル化を促進し、利便性の向上 を図る。	<ul style="list-style-type: none">デジタル技術を活用した医療・福祉の推進教育のICT化推進	<ul style="list-style-type: none">オンライン診療の実証支援高校普通科へのデジタル探求コースの設置
④環境基盤 行政・産業、暮らしの各施策の柱を支える 環境基盤の整備・充実 を図る。	<ul style="list-style-type: none">デジタル人材の確保・育成DXを支える情報関連産業の振興	<ul style="list-style-type: none">企業や行政の職員等の研修県内企業と県内ICT企業のマッチング支援